

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和2年8月30日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690300043
法人名	有限会社 三井・メディックス
事業所名	グループホーム 新川
所在地	鹿児島県鹿屋市新川町5385番地1 (電話) 0994-40-5750
自己評価作成日	令和2年7月20日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和2年8月21日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

これまで当たり前に行っていた、排泄、口腔ケアなどが、入院や、独居生活、認知面の低下等により、困難になり、そのため、排泄については、おむつが当たり前になってしまう方も多そうです。当該ホーム入居をきっかけに、座ることが出来ると、トイレに行く習慣を取り戻し、おむつから、布パンツへ変わる方も多くいます。また、口腔ケアが不十分なことで、食事がとりにくい、痛みなど、トラブルが見られる方もいましたが、安楽歯科のサポートももらいながら、食後は必ず、口をきれいにすることが、利用者さんも当たり前の行為になり、トラブルも少なくなっています。できないと諦めず、普通にすごせる、不自由に感じない生活を意識しながら、過ごしていただいています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・医療連携体制が整っており、歯科受診や定期健診等を行い、看護師による受診の付き添いや薬剤師との連携・口腔ケアなど、安心した医療を受けている。
- ・防火訓練に力を入れており、夜間を想定し訓練計画を立て実施している。
- ・家族との信頼関係を深めるように努め、気軽に要望を聞き、即対応している。
- ・職員は毎月の学習会や外部研修等で自己研鑽に努めている。職員同志のコミュニケーションが良く、理念の「笑顔で満足、あきらめない」を柱に利用者の排泄や口腔ケア支援に取り組んでいる。
- ・職員は長期勤務者が多く、利用者への思いが深く管理者を中心に心のこもった支援に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念をもとに、毎年の目標を掲げ、毎月のミーティングでは、月ごとの「チャレンジすること」を全体で決め、利用者様の生活の質が安定できるように取り組んでいます。	地域密着型の理念があり、ホールに掲げ、共有している。毎年、年間目標を決めて実践につなげている。自己評価の際にも振り返り、確認している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	毎年、町内会より、児童と一緒に「七夕飾り」を通じた交流、中学校の職場体験学習受け入れを維持することで、地域とのつながりを感じながら過ごしていただいている。	町内会に加入し、清掃活動に参加している。地域サロンや子供会の七夕祭り、学生の体験学習の受け入れなど、地域とのつながりを重視している。今年はコロナウイルス感染防止の為、行事は中止としている。野菜の差し入れ等があり、地域と日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	中学生の体験学習の受け入れを通し、利用者と接の維持や、運営推進会議の中では、事業所の取り組み等を報告することで、認知粗油高齢者とのかわりなど理解をいただいている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>報告内容について、利用者様の行事内容、反応や、医療的な面も含めて報告している。報告を行うことで、事業所の取り組み、スタッフの苦労なども含め、評価してもらい、それが励みになることも多いです。</p>	<p>会議は2ヶ月毎に開催しているが、コロナウイルス感染防止の為に4・6月は資料を事前に郵送し、意見を郵送でもらっている。ヒヤリハットやコロナ感染防止対策について意見が出され検討を行い、サービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議のメンバーとして開催時は、必ず参加していただいている。事故報告をさせて頂く中で、事故原因など新たな視点からヒントを頂くことも多くある。</p>	<p>市担当者とは電話やメールで日頃から連携を取っている。入居の相談や事故報告の内容等で助言を貰っている。運営推進会議でも助言がある。市主催の研修会には、積極的に参加し協力関係を築いている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>学習会、ミーティング内のサービス向上委員会を通し、身体拘束に値する行為がなくとも、不適切な言動、対応の振り返りを行う機会を定期的に設けています。</p>	<p>サービス向上委員会の中で、身体拘束に関する研修を、言葉の拘束も含め、毎月、実施している。指針も見直している。定期的に、不適切な言動や対応を振り返る機会を設けている。玄関の施錠は日中はせずに見守りを行い、支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	学習会などで、虐待について内容、弊害なども確認する機会を維持しています。年1回、鹿屋市等が開催する研修会も参加し、防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	外部研修に参加することで、制度を理解する機会を維持しています。また、参加できなかったスタッフにも、資料を配布することで、情報共有に努めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居相談時に、ホームの料金や、加算関係、入院時の取り扱いなどの説明させていただいています。入所後も、介護保険制度改正について、文章で説明させていただき、ご理解の上で利用継続もいただいています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会時や、担当者会議の中で、要望やケアに関するご意見など伺う事があります。また、敬老会、クリスマス会は、ご家族も参加していただき、気軽に相談しやすい雰囲気作りに努めています。	利用者からは日常の関わりの中で声かけして思いを聞いている。家族からは面会時やケアプランの更新時・担当者会議時に意見や要望を聞いている。敬老会やクリスマス会の時は、家族の参加があり、機会を捉えて思いを把握している。出された意見は運営に反映している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月、ミーティングを開催し、意見交換の機会を維持しています。それぞれの考えは、積極的に提案することもあり、伝え易い雰囲気意識しています。普段より、コミュニケーションを多くとり、明るく、楽しく働けるよう環境も意識しています。	職員間のコミュニケーションが良く、ミーティングや日常の関わりで意見や提案を聞いている。出された意見は運営に反映している。長期休暇の取り方等への気配りがあり、職場環境の整備に努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	資格手当てがあり、努めながら、介護福祉士の資格を取得する職員もいます。普段より、介護についての不安、ストレスなどお互いに話すことで、ストレスが蓄積されないようにしている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月、学習会を実施し、学習テーマに沿って、グループワークを実施。ワークを行う事で、自身の考えを伝える機会にも繋がっています。外部研修も、機会があれば参加するようにしています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部研修に参加することで、同業者と交流する機会、ケアの内容について、気づきの場になっています。また、同法人施設と学習会は合同で実施し、職員間の交流機会や、お互いの取り組みを知る機会になっています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所申し込みがあったとき、現在生活している場所に訪問し、情報収集を実施していますが、本人が伝えることが難しいことも多いため、担当のケアマネージャーや、相談員、ご家族から情報を頂くことも多くあります。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所について相談の時点で、困りごとや、要望など伺うようにしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所について相談の時点で、困りごとや、要望など伺うようにしています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様が出来そうな、家事、作業など一緒に実施することで、毎日の役割になる事もあります。利用者間で、困っている方に気づくと、自然と手伝う方もいます。その関わりから、自身に繋がる事もあります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居時に、ご家族も一緒にサポートしていただくことを伝えていきます。外出支援、受診など、出来そうな事は協力していただいています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	昔から利用している美容師の方が、施設に来て、カットしていただいたり、近隣の方の訪問や、地域の方とのかかわりが維持できるようにサポートしています。	コロナウイルス感染症発生以前は、知人・友人の面会があったが、現在は控えている。職員と外出したり、訪問美容師とのかかわりがある。家族との墓参りに行ったり、手紙や電話の取次ぎを行い、馴染みの関係が途切れないように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ホームの活動を通し、利用者との交流機会を維持しています。気の合う利用者同士で、会話が弾むこともあります。一人の利用者様が洗濯物をたたんでいると、他の利用者様が、自然と手伝っていることも多くあります。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用終了している後家族が、現在も運営推進会議に参加していただいています。退居後、ホームに遊びに来ていただいたり、買い物などの場所で、偶然会うこともあり、気軽に声をかけていただいたりしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	家族にこれまでの生活習慣、楽しみにしていたこと、趣味など伺いながら、生活の中に取り入れることもあります。その方の反応を確認しながら、思いや希望に添えるように努めています。	ゆっくりした時間帯に声かけしている。入浴時や眠れぬ夜間帯は話をしている。意思疎通が困難な場合は仕草や言動で思いを把握している。家族と連携を取りながら、思いや希望に添えるように支援に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族より、これまでの生活習慣や、最近の生活リズムなど伺いながら、その方の生活リズムに合わせてサポートしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ホーム内の日課時間がありますが、起きることが出来ない、食事に集中できない等、個々の状況に合わせてながら、過ごしてもらおうようにしています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居前は、担当ケアマネージャーや、相談員、入院先の看護師などより情報を貰い、本人や家族が望む事が可能になるよう介護計画や、サービスを提供しています。	家族に参加して貰い、担当者会議を開催している。その中で、本人・家族・必要な関係者と話し合い、主治医から意見書を貰い介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月で行い、見直しは6ヶ月で実施。状況に変化があった時は、その都度見直しをして、現状に即した介護計画を作成している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>記録担当を振り分け、個人が楽しめたこと、気になっていることなど記録し、情報を共有できるようにしています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>利用者個人ごとに、かかりつけ医で継続してサポートしてもらっています。受診は、ホーム看護師が主にサポートしています。入院期間中は、ご家族や、相談員との連絡を取り、早めに退院ができるように配慮しています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地元の消防団と防火訓練の実施や、子ども会などに参加することで、地域の方とのかかわりを維持しています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけ医の変更はなく、信頼している医療機関を継続して受診してもらっています。ご家族で受診を希望される方もいますが、ホーム看護師、介護職員で定期受診、臨時受診などサポートしています。</p>	<p>かかりつけ医は、本人・家族が希望するかかりつけ医である。受診・通院はホームの看護師・介護職員が定期健診や受診に付き添っている。歯科は往診や同行している。受診結果は家族に電話で報告している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>当該ホームでは、看護師配置があり、日常の健康管理や介護職員から相談など連絡体制も整えています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>長期入院により、認知症の進行予防、身体機能低下を避けるため、入院先の医療相談等と連絡する中で、治療期間が終了、リハビリ期に移行するタイミングなどを見ながら、早めに退院できるようにしています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時の状況によりますが、年齢や病気などから、今後予測される状況を入所前に説明をする場合もあります。医療管理が主になった場合、当該ホームで実施できること、できないこと、食事が経口から摂取できなくなった時の事も話をさせていただくこともあります。</p>	<p>重度化や終末期に向けた指針があり、入居時に説明し同意を得ている。状況変化により、医療が必要となった時、家族の意向を聞きながらホームでできる最大限の支援に努め対応している。看取りの事例がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>学習会、ミーティングなどで、緊急時の対応について手順、時間帯の担当を決めています。急変時の対応も、年1回学習会で再確認していますが、救命講習を長く参加できていないため、計画を立てていきたい。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回、防火訓練を実施し、火災発生時の通報、避難誘導の手順確認を実施しています。台風などの災害発生時に備え、備蓄があり、ライフラインがストップした時を設定した、食事、排泄などを確認しています。</p>	<p>年に2回夜間想定で防火訓練を実施している。1回は消防署立合いで、1回は消防団立合いで「防災管理チェック表」を基に避難訓練を行っている。避難場所や避難経路の確認をしている。車椅子の利用者の移動は消防団に依頼し、見守りは近隣住民にお願いしている。備蓄は水・米・カップ麺・カレー等を用意している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ホーム内の学習会や、ミーティングの中で、普段のケアについて、不適切な対応が無いか確認しています。慣れてしまう事より、不適切な関わりが無いかなど、確認をしながら、接遇についても意識しながらサービスを提供していきます。	毎月学習会を行い、ミーティングでも事例を挙げて話し合っている。トイレ使用時や入浴介助時の気配りや羞恥心への気配り、敬語の使い方等は特に配慮している。書類等も一定場所に保管している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ホームの日課以外に、個人に合わせた活動を実施することもあります。日課活動も声かけすることで、参加するか、しないか本人で決めてもらうなど、場面ごとに自身が決める機会を意識しながら対応しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床や、食事の時間など、利用者個人に確認しながら、その方のペースで過していただいています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	就寝は寝巻きに着替え、起床時に普段着を着ていただくことで、メリハリをつけられるようにサポートしています。定期的に訪問美容を利用したり、白髪が気になる方には、髪染めも手伝うことがあります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の後は、お盆に片付けたり、その方に合わせて少しでも関わりが持てるようにしています。昼食づくりなど、一緒にできる機会も作っています。	専任の調理担当者がいて、行事食をはじめ個々人の好みや楽しみな食事に努めている。利用者は野菜の皮むきや食後の食器のかたづけをしている。クリスマス会は家族と一緒にを行うが今年は控えている。行事食やおせち料理・盆・誕生日は好きな物を提供し、食事を楽しむ支援を行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個人ごとの水分量（平均）を確認し、少ないときは、飲み易いものを進めたり、体調の変化がないかなど、確認しています。職員で献立を作成しますが、バランスよく食材が入るように、意識しながら作成しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後は、職員と一緒に口腔ケアを実施しています。義歯を外す、装着する、嗽など本人ができることは促しながら進めています。また、月1回しか衛生士の口腔チェックを受け、ケアのアドバイスをしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	座る、握って立つ動作が可能であれば、トイレに行く機会をつくっています。おむつ排泄の方も、トイレのタイミングが合うようになり、布パンツで過せるようになった方もいます。	排泄チェック表で時間帯を見ながら、トイレに早めに誘導している。入所時に、オムツ利用の利用者がリハビリパンツから布パンツに改善した事例がある。羞恥心や不安感に気配りしながら、自立に向けて取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便確認を行い、便秘が続かないようにしています。食材も便通がよくなるものを検討しながら、自然排便に繋がるようにしています。また、整腸剤、下剤等も、排便の状況に合わせて、調整しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	午後より、毎日入浴の時間があり、利用者が入浴の有無を決めていただいています。入浴が億劫な方もいるため、気持ちよく入れるように声かけ、時間帯など検討することもあります。	午後より、毎日入浴ができる。利用者の意向に沿って対応している。1対1での介助もしている。椅子が回転して浴槽に入れるリフトもあり、安全に気持ちよく入浴を行っている。入浴剤を使用したり、季節によっては柚子湯で香りを楽しんでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間は、利用者の希望に合わせています。昼食後、横になり過したいという方もおり、その方の時間に合わせながら対応しています。心配事、気になる事があり、寝付けない方は、スタッフと一緒に暫く話をしたり、側にいることで休みたくなった時に休んでいただくこともあります。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬管理が難しくなっているので、職員より介助しています。誤薬がないように、マニュアルを作成していますが、新たな問題が生じた場合、その都度改善しています。個人の服薬管理表も用意し、常に確認ができるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物をたたむなど、個々にできる作業を一緒に行っています。自ら「たたもうか?」と、スタッフへ声をかけていただくこともあります。「お互い様」で、気遣いの負担が軽減できるように配慮することもあります。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	ご家族の協力も頂きながら、墓参り、美容室へ出かけたり、外食をすることもあります。気候を見ながら、周辺の散歩、買い物など出かける機会を作っています。	年間行事の初詣や花見・花火・節分・ひな祭り・バラ園見物等、家族の協力で墓参りや外食に出かけていたが、今年はコロナウイルス感染防止の為、外出は見合わせている。外気浴や近隣の散歩をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者でお金を管理することが難しいので、家族やスタッフで対応しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご本人より、電話をしてもらいたいということは無いが、遠方に住んでいるご家族より、連絡がある時は、電話で会話を楽しんでいただく機会もあります。毎月の様子は、ご本人の変わりに、介護職員で「今月の様子」をお便りとして、届けています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有する空間のため、排泄臭や、感染予防に配慮しています。洗面所、トイレなど使用頻度が多いため、定期的に清掃することで、清潔に保つこと、後から使う方が不快に感じないように意識しています。	共用空間は天井が高く採光は柔らかく換気に配慮し清潔である。職員で昼食後にトイレを清掃している。洗面台は車椅子対応で使いやすい。廊下は手すりを設置し運動しやすい。季節毎に職員と一緒に作った作品を飾り、居心地よく過ごせる工夫をしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テレビ前のソファで、他利用者と一緒にくつろいだり、話をするなど、それぞれの時間を過ごしてもらっています。部屋で休みたいなど、行きたい場所を伝えてもらい、介助しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に、使い慣れているタンスなど持ち込んでもらっています。家族の写真を飾ったり、好きな花を飾ったりと、その方の好きなもの、思い出の品が多くあります。	エアコン・ベッド・クローゼットを設置している。家から持ち込んだタンス・家族写真・自作の作品等を飾り、居心地よく過ごせるように工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室の呼び出しボタンを押してもらい、トイレに行きたいことが伝えられるように、繰り返し「これを押してください。」と伝えたり、出来る行為、動作があれば、安全面も確認した中で、自分でも出来ることを続けられるようにサポートしています。		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない